

# ひまわり



【学校教育目標】○心豊かな子○進んで学ぶ子○たくましい子 ~今日が楽しく、明日が待ち遠しい学校~

【1月生活目標】「進んであいさつをしよう」

文責 前田 伸吾



「いきいき のびのび ちからいっぱい 輝く」

子供の育成を目指して

令和5年も残りわずかとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には、2学期中にもたくさんのご協力とご支援をいただきました。皆様に見守っていただきながら、子供たちは安心して学校生活を送ることができました。心より感謝申し上げます。さて、本日通知表をお渡しします。通知表は、子供を伸ばすための資料です。お子さんの学校での頑張りをお知らせするための資料です。結果だけを見て、「よかった」「悪かった」ではなく、子供の頑張りを是非認めてほしいと思います。大人もそうですが、ほんの小さなことや些細なことでも、認めてもらったりねぎらってもらったりすると、自信や次への意欲となります。2学期の通知表が次につながるものとなるようよろしくお願いいたします。

話は変わりますが、最近「前田のつぶやき」掲載できずにいるのが、ちょっと寂しいと感じています。学校行事の様子や子供たちの活動の様子をお伝えすることが「学校だより」の役割ですので、スペースの確保ができないと掲載しないのが現状です。「つぶやく」話がないのではと思われてしまうのも仕方ないことですが、毎日多くの児童とお話しをしたり音読を聞いたりしています。今年最後の学校だよりなので、ある学年の教室にお邪魔した時のエピソードを紹介します。いつもと変わらぬ笑顔で迎えてくれるのですが、机に腰をかけて談笑していたので「座るところじゃないよ」と声をかけました。すぐに机から降りてくれたのですが、その児童はこう言いました。「だって担任の先生がやっていました」。この言葉を聞いて私はハッとしました。子どもは大人の姿をよく観察しておりまねをする、そのことをその児童は教えてくれたのでした。以前、読んだ本にアメリカのドロシー・ロー・ノルトさんが書いた「子供が育つ魔法の言葉」を思い出しました。そして右の詩にも出会いました。題名は「子は親の鏡」ですが、私は「子は大人の鏡」だとも捉えることができると思います。私たち教職員は、子供たちと多くの時間を共有している大人の一人です。ここに書かれていることがすべての子供に当てはまるわけではないですが、子供は大人の姿勢や生活する環境によってその成長に大きな影響を与えているのは間違いないと思います。保護者や学校の先生、地域の方がそれぞれの立場から子供を大切に思い愛情をもって接し、子供たちの健やかな成長につなげていきたいと思えます。最後になりましたが、来る年が皆様にとってよい年となりますことをお祈り申し上げます。よいお年を・・・。

子は親の鏡

ドロシー・ロー・ノルト

けなされて育つと、子どもは人をけなすようになる  
 とげとげした家庭で育つと、子どもは、乱暴になる  
 不安げな気持ちでいると、子どもも不安になる  
 「かわいそうな子だ」と言って育てると、子どもは、みじめな気持ちになる  
 子どもを馬鹿にすると、引っ込みじあんな子になる  
 親が他人を羨んでばかりいると、子どもも人を羨むようになる  
 叱りつけてばかりいると、子どもは「自分は悪い子なんだ」と思ってしまう  
 励ましてあげれば、子どもは、自信を持つようになる  
 広い心で接すれば、キレる子にはならない  
 誉めてあげれば、子どもは、明るい子に育つ  
 愛してあげれば、子どもは、人を愛することを学ぶ  
 認めてあげれば、子どもは、自分が好きになる  
 見つめてあげれば、子どもは、頑張り屋になる  
 分かち合うことを教えれば、子どもは、思いやりを学ぶ  
 親が正直であれば、子どもは、正直であることの大切さを知る  
 子どもに公平であれば、子どもは、正義感のある子に育つ  
 やさしく、思いやりをもって育てれば、子どもは、やさしい子に育つ  
 守ってあげれば、子どもは、強い子に育つ  
 和気あいあいとした家庭で育てば 子どもは、  
 この世の中はいいところだと思えるようになる



